

四谷中学校校長 東 孝夫と申します。着任させていただき、今年度で八年目になります。よろしくお願いいたします。

本校生徒は、271名(男子:145名 女子126名)○1年3クラス:80名、○2年3クラス96名、○3年3クラス:91名、新苑1クラス:6名(男子3名 女子3名)○1年4名 ○3年2名でスタートしています。

また、開校20年目と歴史は浅いのですが、四谷第一中学校と四谷第二中学校との伝統を併せ持った学校であり、両校の歴史に見守られた学校生活を送っております。

今年度は、経営方針にもありますが、教育活動のテーマとして、昨年度に引き続き「全教育活動を明確なねらい(ゴールイメージ)をもって進めていく」こととしました。

また、今年度の**重点**課題として、

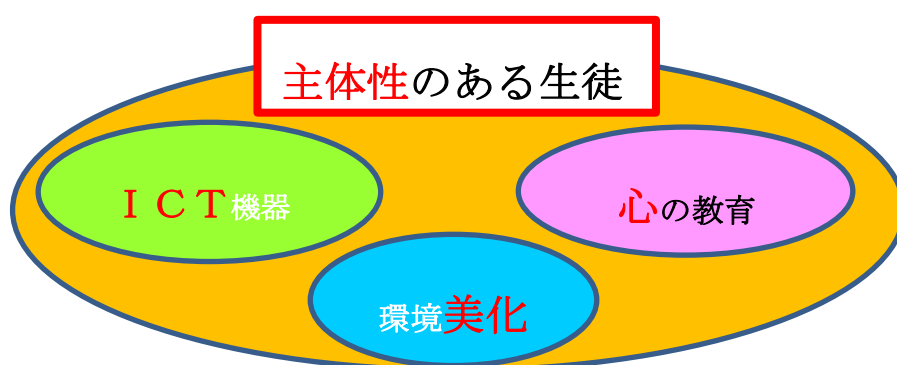
令和2年度の**重点**課題

● 全教育活動を通した**主体性**を育む教育の実践

◆ 教育活動の礎 「**心の教育**」

◆ ICT機器の積極的活用

◆ 日常的な**環境美化**



特に、道徳の教科化のもと、「**心の教育**」を引き続き充実させ、豊かな心を育成するために道徳授業を基盤とし、「道徳的視点に立ったあらゆる教育活動」を推し進めQUアンケートも活用しながら取り組んでまいります。

また、今年度10年目となる地域協働学校については、

スローガン ～四谷の子どもは四谷で育てる～ のもと以下の3つの目標を踏まえる。

○地域と学校がともに生徒の人間性・社会性を磨かせる

○地域と学校がともに生徒の意欲・能力・可能性を高める

○地域と学校の互惠関係を深める

そして、学校運営協議会のテーマとして、「学校運営協議会による取り組みを明確なねらい(ゴールイメージ)をもって進めていく」こととしました。

さらに今年度の重点課題として、

＜生徒に対して＞

■ 四谷の地域を知り、地域に入らせる

＜学校・PTA に対して＞

■ 学校・PTA との連携・連携した透明性のある活動

■ 小中連携型地域協働学校におけるモデル校(2年目)としての推進

＜地域に対して＞

■ 地域発掘・人材確保

■ 地域との連携・連携した透明性のある広報活動

と決めました。

特に、今年度は小中連携型地域協働学校のモデル校(2年目)としての実践を通して、「あるべき子ども像」を四谷の地域で模索しながら、各小学校と連携のもと、主体性を育む教育を実践して行く所存であります。

どうぞ本校の教育に、ご支援・ご協力をお願いいたします。